

様式第1号

地下貯蔵タンク等の在庫の管理及び危険物の漏えい時の措置に関する計画届出書

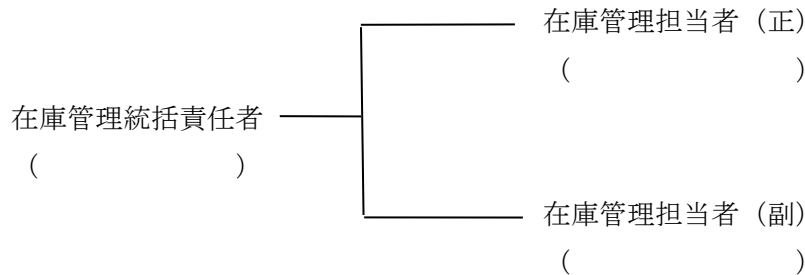
年 月 日 総社市長 様 届出者 所有者・管理者・占有者 住所 _____ 氏名 _____ 電話 _____			
設置者	住所	電話	
	氏名		
製造所等の別			貯蔵所又は取扱所の区分
設置の許可年月日		設置	年 月 日 第 号
及び許可番号		変更(最終)	年 月 日 第 号
設置場所			
在庫管理に従事する者の職務及び組織			
在庫管理に従事する者に対する教育			
在庫管理の方法			
危険物の漏れが確認された場合に取りべき措置			
その他必要な事項			
※ 受付欄		※ 経過欄	

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
- 3 ※印の欄は、記入しないこと。

地下貯蔵タンク等の在庫の管理及び危険物の漏えい時の措置に関する計画届出書記入例

1 在庫管理に従事する者の職務及び組織

在庫管理の実施にあたり、所有者・管理者・占有者は製造所等の従業員の中からあらかじめ、正、副の在庫管理者を定め在庫管理が適正に実施される体制を整えなければならない。



2 在庫管理に従事する者に対する教育

対 象 者	実 施 時 期	内 容
在庫管理者	年 1 回実施, 但し対象者が交代した場合は随時実施する。	(1) 在庫管理等計画届出の意義と理解 (2) 在庫管理の対象となる設備 (3) 在庫管理の点検方法及び記入要領 (4) 漏えい検査管の点検方法及び記入要領 (5) 異常時の対応について <ul style="list-style-type: none"> ・ 異常時の判断基準の理解 ・ 異常時の対応手順の理解

3 在庫管理の方法

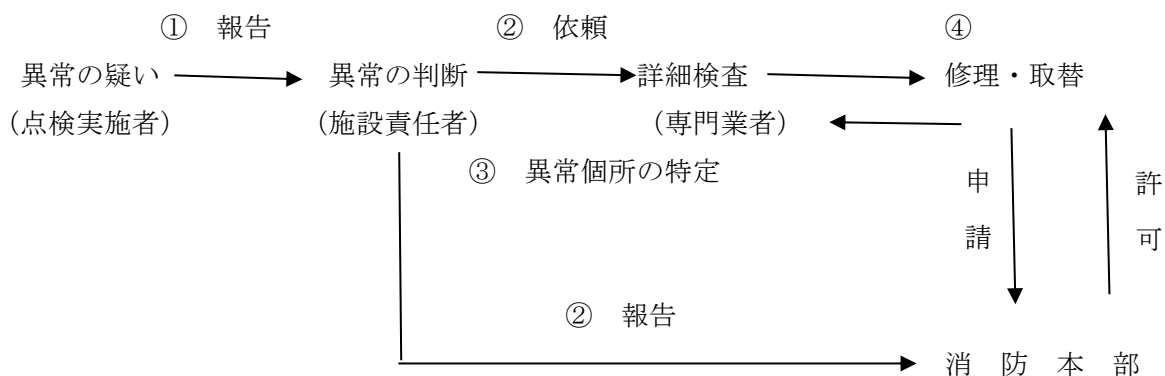
在庫管理を実施する際の在庫量の測定方法は、それぞれ下記の測定機器、器具を用いて週 1 回以上実施すること。

- (1) 遠隔式液面計
- (2) タンク直上式液面計
- (3) 検尺棒 (タンク容量に対して 1 / 100 以上の精度の目盛りが刻まれたものを使用)
(例) 10KL タンクの場合は、最小目盛り 100L で刻まれたものを使用

※ 給油取扱所の在庫管理は「SS 施設安全点検記録帳」(石油連盟発行)を参考

4 危険物の漏れが確認された場合の取るべき措置

- (1) 異常の判断
 - イ 在庫管理時の異常
 - 1 週 1 回以上実施する在庫管理において著しい増減が発生した場合は異常と判断する。
 - 2 漏えい検査管点検時、検査管から著しい油臭がするか、挿入した金属製巻尺等に著しい油分の付着が認められた場合は異常と判断する。
- (2) 異常時の対応



- ① 点検実施者は（１）異常の判断に記されている異常が疑われる場合は速やかに施設責任者等に報告する。
- ② 施設責任者等は点検実施者から報告された「異常の疑い」が漏えいによる異常であると判断した場合は、速やかに消防本部へ報告するとともに、専門業者に詳細検査を依頼する。
- ③ 専門業者は、異常箇所の特定を行い、施設責任者等へ報告する。
- ④ 施設責任者等は、消防本部と相談の上適切な修理・取替を計画し、申請、許可を受け復旧工事を実施する。

5 予防規程の適用のある製造所等

予防規程の適用のある製造所等は、予防規程中「点検及び検査その他の安全管理」の章に次の項目を追加すること。

- （１） 地下貯蔵タンク等の在庫の管理及び危険物の漏えい時の措置に関する計画については、別途届け出るものとする。